

新春特別收藏品展

日本凧めぐり

— 山鹿郷土凧コレクション —



駿河凧 金時 (静岡県)



江戸凧 船弁慶 (東京都)



津軽凧 鬼頼光 (青森県)



讃岐凧 狸々 (香川県)



ウサギ凧 (大阪府)



孫次凧 蟬 (福岡県)



桜井凧 蜂 (愛知県)

パラモン凧 (長崎県)

2022年

2023年

12月17日<土> ~ 2月12日<日>

■休館日：毎週月曜日 (ただし、1月9日<祝・月>は開館、翌10日<火>は休館)
年末年始 (12月29日~1月3日)

■開館時間：9時30分~17時 (入館は16時30分まで)

■会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室

■観覧料：

一般500 (400) 円・大高生250 (200) 円・中学生以下無料

* () 内は、20名以上の団体割引料金

* 障がい者手帳等持参者とその介護者1名は無料

* 2つの展示がご覧いただけます



昭和のくらし

子どものための特集展示

群馬県立歴史博物館

Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森公園内

TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534

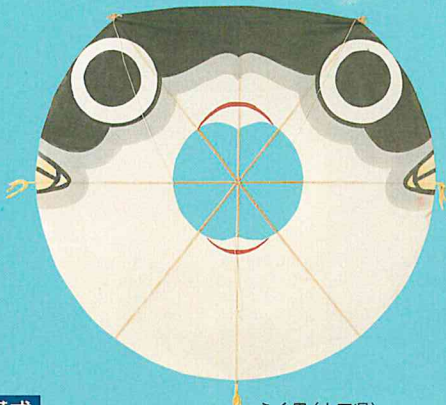
新春特別收藏品展

日本凧めぐり

— 山鹿 郷土凧コレクション —

天空の風を受け舞い上がる凧は、お正月の風物詩として親しまれ、日本の空を美しく彩ってきました。日本では竹、和紙などの凧作りに最適な材料に恵まれた風土をいかし、創意工夫に富んだ個性的な凧が発展してきました。また凧は、子どもの成長儀礼や魔除け、まじないなどの民間信仰とも関わりを持ち、私たちの暮らしと深く結びついています。

本展では当館に寄託された300点を超える山鹿郷土凧コレクションの中から、選りすぐりの凧をその由来・背景、凧にまつわる風習とともに紹介します。新春から早春に向かう暖かな風の訪れが待ち遠しいこの季節、博物館で鮮やかな凧とともにいち早い春風を感じてみませんか。



ふぐ凧 (山口県)

展示構成

(1) 日本各地の凧

- ①北海道・東北地方の凧
- ②関東地方の凧
- ③中部地方の凧
- ④関西・中国地方の凧
- ⑤九州地方の凧

(2) 世界の凧

中国、台湾、タイ、インド、ブラジルの凧

(3) 凧くらべ

- ①だるま
- ②金太郎
- ③セミ・ハチ・アブ
- ④魚

関連事業

●ギャラリートーク

視聴覚室にて当館学芸員による展示解説を行います
1月7日(土)、2月4日(土) 午後2時～2時30分
※事前申し込み不要。参加するには観覧料が必要です。



鬼ヨース (山口県)



袖凧 達磨 (群馬県)



柳川凧 目返し金時 (福岡県)

昭和のくらし

子どものための特集展示

令和の便利な世の中になり、昭和ははるか昔のことのように感じていませんか？その昭和のくらしで使われていた生活道具を展示しています。あわせて当時の生活の場も一部再現しています。人々の生活がどのように変わってきたのかを見ることで、懐かしかったり驚きがあったりするかもしれません。そんな昭和のくらしを感じに来ませんか。



主な展示内容

- 昭和のころに使っていた生活道具
- 蚊帳の間・昭和30年代の茶の間・昭和50年代の応接間の再現
- 昭和の遊びコーナー

同時開催

- 昔の遊びワークショップ

12月17日～2月12日の土・日・祝日と
12月27日・28日、1月4日・5日・6日



交通のご案内

電車

東京方面から 上越新幹線・北陸新幹線 東京～高崎(約1時間)
高崎線 上野～高崎・倉賀野(約1時間50分)

バス

高崎市内循環バス「ぐるりん」
JR高崎駅東口から「岩鼻線」(約25分)、「群馬の森線」(約26～44分)
JR倉賀野駅から「岩鼻線」(約9分) ※いずれもバス停「群馬の森」下車

自動車

関越自動車道 高崎玉村スマートICから(車で約10分)
高崎ICから(車で約15分)
北関東自動車道 前橋南ICから(車で約15分)
上信越自動車道 藤岡ICから(車で約10分)



群馬県立歴史博物館

Gunma Prefectural Museum of History
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森公園内
TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534

